

しながわ未来★活動報告

●しながわ未来の予算要望を提出

今年度も「しながわ未来」は次年度に向けた予算要望書を提出しました。23の団体と意見交換を行い、いただいた要望について精査し、議論を重ね要望をまとめました。

各団体からの要望に加えて、吉田ゆみこからは特に、環境に関する要望として「プラスチック資源循環法がめざす『2050年には新たな海洋汚染ゼロとすること』を品川区として実現するため、再商品化計画の方向性を速やかに定め、具体的な政策を区民に周知し、区・事業者・区民が一体となって政策実現をめざすこと」を付け加えました。



2024年9月17日森澤区長へ手渡した。
(左から松永よしひろ、ひかしゆき、森澤区長、大倉たかひろ、吉田ゆみこ、山本やすゆき)

●品川区議会『2024区民と議会の交流会』

常任委員会ごとに標記の交流会を開催しました。この会は品川・生活者ネットワークが「開かれた議会の一貫」として「議会報告会」を提案し2016年から始まり、名称変更したものです。

今年度は12月8日の文教委員会を皮切りに、12月21日の建設委員会まで報告会を実施しました。できるだけ多くの方に気軽に参加してもらえるよう名称も「区民と議会の交流会」と改め、今年のポスターは「議員と話そう！」を前面に出しました。

●品川区児童相談所を視察しました

2024年10月1日、品川児童相談所は、予定通り事業開始となりました。人材確保など確認のため、会派で視察をしました。児童相談課長、一時保護担当課長他による簡単な説明と質疑があり、その後、施設内を視察しました。

吉田ゆみこからは「子どもの学びの権利の保障」や「里親の確保」などについて質問しました。学びの権利では「本来であれば地域の学校に通うことが適切であり、可能な児童・生徒はその方針だが、中には親の『取り戻し』を懸念せざるを得ないケースもあり、施設内で教員免許を持つ職員が学びのサポートをおこなっている」とのこと。

自治体に児童相談所が設置される最大の意義は「子どもは地域で育つ」ことへの支援です。今後も「子どもの最善の利益」確保の視点で事業を注視します。



■交流会開催日と参加人数

12/8	文教委員会	30名
12/14	区民委員会	13名
12/14	総務委員会	18名
12/14	厚生委員会	25名
12/21	建設委員会	14名